

# 北海之光

8月号 北海道教区報

ハレルヤ 新しい歌を  
 主に向かって歌え  
 詩編 149 編 1 節

発行所 北海の光社  
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12  
 日本聖公会北海道教区事務所  
 電話 011-717-8181  
 F A X 011-736-8377  
 E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp  
 http://www.nssk-hokkaido.jp  
 発行人 笹森田鶴

## 「ボンヘツファアの祈り」

小樽聖公会牧師  
 岩見沢聖十字教会管理牧師

司祭 ヨハネ 池田 亨

ナチに抵抗して殉じた  
 デイートリツヒ・ボン  
 ヘツファア(一九〇六―  
 一九四五)の獄中書簡集、そ  
 の邦訳『抵抗と信従』から  
 詩を紹介し、「朝の祈り」  
 と題する、そのはじめの部分  
 です。

神よ、朝早くあなたに向っ  
 て呼び求めます。  
 私を助け祈らしめ、思い  
 をあなたに集めさせてく  
 ださい。

ひとりではそれができな  
 いのです。

私のうちは闇ですが、  
 あなたのそばには光が  
 あります。

私は孤独ですが、  
 あなたはお見捨てになり  
 ません。

私は臆していますが、  
 あなたには助けがありま

す。

私は不安ですが、  
 みもとには平和がありま  
 す。

私の言葉は辛辣ですが、  
 あなたのみに忍耐  
 があります。

私はあなたの道を理解し  
 ていませんが、  
 あなたは私のための道を  
 ご存知です。

この詩は一九四三年のクリ  
 スマスに書かれました。クリ  
 スマス前、釈放の期待が閉ざ  
 されるといふ事情の中で生ま  
 れました。そこには、ボンヘツ  
 ファアのこころの葛藤が正直  
 にあらわれています。

しかし、なお、神への信頼  
 を表す言葉が対をなしていま  
 す。信頼の源は神にあるから  
 こそ、自分の闇、孤独、不安  
 を隠さず差し出しています。  
 そこには聖書的な詩編のこころ

ろが響いています。

つづく、詩の言葉は父なる  
 神への祈り、キリストへの祈  
 り、聖霊への祈りがうたわれ  
 ます。

聖霊への祈りの言葉を一文  
 だけ紹介しましょう。

聖霊よ、……

憎しみ、悪意を根絶する

神と人への愛を与え、

恐れと無気力とから解放  
 する希望をお与え下さい。

私にとって若い時に出会  
 い、殊に孤独と不安の日々  
 の中で、慰めと励ましを受け  
 きた祈りです。多くのキリス  
 ト者を支えてきた祈りです。

いま、私たちはパンデミック  
 の中、変異しつつ何度も  
 襲ってくる新型コロナウイルス  
 の波に閉口しています。そ  
 れでも耐え、マスクをつけ、  
 息苦しく生活しています。

その上、ロシアによるウク  
 ライナへの「特別軍事行動」  
 です。心を痛めています。こ  
 の戦争は、世界を分断し、世  
 界経済を不安定化させ、エネ  
 ルギー問題、食糧問題、物価  
 高騰をも生じさせています。

誰ひとり幸せにはならず、む  
 しろ、あらたな憎しみと悪意  
 を生じさせています。二〇世紀  
 に、悲惨な大戦をくりかえ  
 し経験したにも関わらず、い  
 まだ癒えない傷があるのに、  
 私たちはいったい何を学んだ  
 のだろうと嘆かずにはいられ  
 ません。犠牲者のことを思う  
 と言葉を失います。

でも、ボンヘツファアの示  
 す信仰に立脚して、このよう  
 な時代も、このような世界も、  
 主の御手のうちにあることを  
 信じるのです。ゆえに、愛と  
 希望の源である神に信頼して  
 生きることがゆるされ求めら  
 れます。そして、平和を求め  
 つくりだす歩みが。

一市民にすぎないと無力さ  
 を嘆くことはありませんよう  
 に。ボンヘツファアは私たち  
 を優しく励まします。身近な  
 ところからはじめることを。  
 「二人また三人の間での平和  
 からのみ、われわれが希望す  
 るような平和が、将来、成  
 長することが可能なのであ  
 る。」 Dietrich Bonhoeffer  
 Lesebuch  
 Hg von Otto Dudzins, 1985

—心の窓をひらく—



## 福音と私(二六一)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

旭川聖マルコ教会信徒

カシルダ 久末 典子



### 【私の好きな聖句】

宝は、天に積みなさい。  
あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。

(マタイによる福音書  
六章一九節から二二節)

マルコ教会との出会いは、兄の家庭教師として、我が家に通っていた教育大学生の方がマルコ教会と関わっていたことからです。教会にはグリーン司祭というカナダ人の牧師さんがいらして、洋館に住んでいるという事を聞いて、関心を抱きました。中学に進んだ頃、中学生会に入り、高校生になると高校生会に入りました。夏には、新冠サマーキャンプがあつて、参加しました。

高校を卒業して、トヨタ系のディーラーで働き始めた頃、三澤康二司祭に「聖書のお勉強を始めましょう」と勧められて、毎週土曜日の夜、高校の時の友人と、丸井デパートに勤務していた武口弥生さんの三名で始めました。やがて親友となる弥生ちゃんとの初対面でした。三月生まれなので名前は弥生、私より一歳年上で洗刺として、輝いていました。そして秋になり、洗礼を勧められ、友人は受けたいと前向きで、私は何となく付き合う感覚で、受洗しました。洗礼名は?と問われて、スペイン画集に心惹かれる絵があり、スルバラン作「聖女カシルダ」から戴きました。三人揃つての洗礼式が行われ

ました。その後、三澤司祭から教会学校を手伝ってほしいと依頼があり、朝九時半からの始まりにはいつも遅れてしまふのですが、その時の司祭の言葉が忘れられません。「教会学校には遅れるけれど、礼拝には間にあうでしょう」と言われたのです。今年、三澤司祭様が天に召されたことをとても寂しく思います。

その後、私の人生が目まぐるしく動き始めます。やがて、夫となる久末隼一氏の出現です。札幌聖ミカエル教会、ミカエル寮出身で、勤務地の旭川の製紙会社に配属されて来たのです。彼は三澤司祭とは関係です。という訳で神様の計らいで結婚の運びとなりました。その後、夫は転勤族だったので、苦小牧に転勤となり、苦小牧市勇払に住みました。教会は苦小牧聖ルカ教会で、九年間在籍しました。楽しい思い出深い教会生活でした。その後、夫は東京本社勤務となり、進学した長女は北海道に残し、中学生の長男を

伴い、千葉県船橋市に住みました。教会は市川聖マリヤ教会でした。大きな教会で、陪餐の時は、大勢の信者さんへのパンと葡萄酒のご奉仕に司祭様は汗だくでした。それから、夫は山口県岩国市に転勤となり、住まいは岩国市となりました。長男は岩国の高校に入学しました。教会は、広島復活教会に在籍しました。岩国からは遠かったので、月に一度くらいの頻度で通いました。二年後、夫は、東京に籍を置き、四国小松島の職場に長期出張となりました。進学を控えた高三の長男と私は岩国に残りました。その後、長男は長崎の大学に入学が決まり、私は西船橋に購入したマンションに住むことになりました。

三月末、岩国での引っ越しを終えて、翌日の朝、広島駅で息子と別れる時、突然胸に込み上げるものがありました。ここで一家四人、夫は四国小松島、私は西船橋、長女は北海道苦小牧市、長男は長崎市、と全国に分散となりました。その年のお正月は忘れられません。日本列島それぞれの地から西船橋のマンションに集まりました。家族四人でお正月を過ごしました。その後、夫に正式に辞令が出て、私は小松島に合流しました。教会は、徳島インマヌエル教会です。小松島から徳島へ向かう道路の歩道には、巡礼の装束に身を固めたお遍路さんが杖を手に黙々と歩いていきます。四国は巡礼の地でした。何処の土地に住んでも聖公会の教会が存在しているということは、どんなに心強いことでしょう。同じ祈祷書で礼拝を捧げることの幸せを、心からかみしめています。

今は、家族それぞれが全員北海道で暮らしています。夫は旭川の関連会社に辞令が出て、旭川に住むことになりました。実家の教会である「旭川聖マルコ教会」に在籍し信仰生活を続けています。

主に感謝!

**常置委員会報告**  
第九回 七月一日

《協議事項》

- 一、二〇二二年度教区会計決算に関する件
- ・決算案を了承した。
- 二、二〇二三年度教区予算に関する件



**主教室から**

今年は大変な会議が続いています。三月下旬には首座主教会議が英国ランベスパレスで、五月下旬からは二年に一度の日本聖公会第六七(定期)総会が東京で、また五月中旬には日本聖公会婦人会総会が大阪で開催されました。七月二六日から八月八日までは一四年ぶりのランベス会議が英国のカンタベリーで開催されます。いずれも日本聖公会という管区として各教区が、また教区を越えて連帯する女性たちが、またアングリカン・コミュニオンそれぞれの管区の代表が、さら

する件

- ・予算総額は増額となるが、各教会分担金については、昨年同額に据え置く方向で今後の作業を進める事とした。
- 三、三浦聖職候補生の執事志願に関する件
- ・主教諮問に対し、執事試験

にカンタベリー大主教によって招集された全世界の主教たちが集まる「会議」です。これらの会議に共に集い、礼拝し、み言葉に聴き、この世界に遣わされている信仰共同体としての必要や使命を共有し、励まし合い、再び散っていきます。毎年の教区会も同様に重要な会議のひとつですし、来年は一年ぶりに日本聖公会宣教協議会が開催されます。

聖公会はこのような会議性を大事にしてきました。時間がかかろうが手回がかろうが、誰か一人のリーダーの考えだけで方向性を決めず、ありとあらゆる地域の経験や状況、文化や意見などを持ち寄り、祈りつ

に着手する事を了承した。

- 四、「遺贈」事案の取り扱いに関する件
- ・北海道教区への「遺贈」の申し出があり、手続きを進めることとした。
- 五、聖公会神学院主催の教役者宿泊研修会参加に関する件

つ、するべきことを見極めます。ですから、そう容易く決め事は定まりません。また決議された方向性は各教区に持ち帰られ影響力を

つ、するべきことを見極めます。ですから、そう容易く決め事は定まりません。また決議された方向性は各教区に持ち帰られ影響力をもちますが、束縛するほどの拘束力はありません。つまり宣教の今後の方向性は、各教区での状況や課題の深刻さの中でその受け止めが判断され得るのです。翻って、聖公会の会議では、受け止める側の成熟度が求められているとも言えます。

これから聖公会の方向性が提示されたことを少しづつでも教区の皆さまと分かち合い、わたしたちの状況の中で大事に受け止めていきたいと願っています。

主教 マア・グレス 笹森 田鶴

・教役者の参加を奨励することとした。

- 六、カトリック教会シノドスに関する応答としての合同礼拝への派遣に関する件
- ・永谷司祭の出席を了承した。
- 七、ニセコの教区所有地売却に関する件
- ・売却する事を承認した。

**堅信式受領**  
おめでとう

新札幌聖ニコラス教会  
アブラハム 山原 進  
(七月二四日)

**十 教区逝去教役者  
記念聖餐式**

九月一四日(水)  
午前一〇時三〇分  
於 主教座聖堂  
次の方々を覚えて祈ります。

- |                           |                             |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 司 祭 岡 村 龍 夫<br>一九八〇年九月一〇日 | 司 祭 須 貝 隆<br>一九九九年九月一三日     | 司 祭 岡 村 龍 夫<br>一九八〇年九月一〇日 | 司 祭 須 貝 隆<br>一九九九年九月一三日     |
| 司 祭 本 間 弥 門<br>一九三九年九月八日  | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 | 司 祭 本 間 弥 門<br>一九三九年九月八日  | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 |
| 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 | 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 |
| 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 | 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 |
| 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 | 司 祭 木 末 登<br>一九六七年九月四日    | 司 祭 柴 田 新 太 郎<br>一九三四年九月二〇日 |

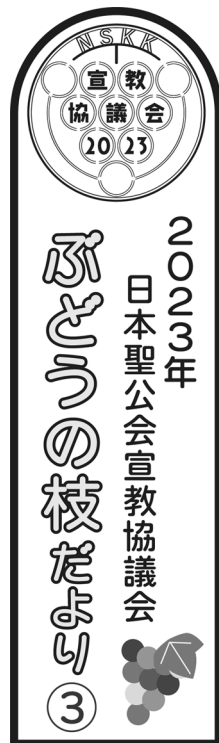
…日本聖公会の書籍注文は…  
**バイブルハウス南青山へ**  
(日本聖書協会直営の通販専門書店)

・オンラインショッピング可 <https://biblehouse.jp/>

TEL 03-3567-1995 ★営業時間  
電話受付 月～金曜日 10～16時  
FAX 03-3567-4435 土～日曜日・祝日・年末年始は休業

E-mail [biblehouse@bible.or.jp](mailto:biblehouse@bible.or.jp) **ぜひご利用ください!**

祈禱書、聖歌集、聖公会手帳、要覧  
教籍簿、法憲法規、カレンダー等…  
聖公会の刊行物をご購入いただけます!



宣教協議会って

なんですか？

～二〇二二年

宣教協議会について～

「歴史への責任と二一世紀への展望」と題した一九九五年日本聖公会宣教協議会の「日本聖公会の戦争責任に関する宣言」以降、日本聖公会は韓国・フィリピンをはじめアジアの諸教会との交わりが深まりました。一九九八年のランベス会議でも紹介され、多くの国の人に感銘を与えました。しかし、より具体的に進むためには課題もありました。

そこで、二〇二二年の宣教協議会は九月一四日～一七日、静岡県浜名湖畔の研修施設「キャリアック」を会場に、三つの目的をもって開か

れました。一、教会の直面する現状を分かち合い、具体的な宣教ビジョンを構築すること。二、日本の社会における教会の使命・宣教について再認識し、具体的な方策を検討すること。三、世界に対し、一九九五年の戦争告白を踏まえ、日本聖公会が「平和の器」として用いられるため。

二〇二〇年にはプレ宣教協議会が開かれます。「宣教する共同体のありようを求めて」をテーマに二〇二二年への準備が進められている中、二〇二一年三月に東日本大震災、そして、東京電力福島第一原子力発電所爆発事故が起こりました。大きな犠牲と被害を目の当たりにして、宣教や教会のことは、もはやこの災害によってもたらされた事



されました。

態・現実とは無関係に考えることはできないと思いませんか？

「いのち、尊厳限りないもの ～宣教する共同体のありようを求めて～」

この宣教協議会には全教区の主教と各教区の代表者達が集まりました。これは前回の協議会では叶わなかったことです。そして管区諸委員会、大韓聖公会からの代表を迎えて一四〇名が集まりました。

協議会の初日、ベリス・メルセス宣教修女会の清水靖子シスターによる特別講演「イエスの道を歩く～未踏へのチャレンジ・未来の子どものために原発を止めるためには～」を通して、福島原発事故の現実、キリスト者としての生き方をどう選択するのかが問われました。また「いっしょに歩こう！プロ

ジェクト」の報告では、現地の人々の悲しみや苦悩の傍に共にたたく教会、その只中におられる主イエスの姿が示されました。

二日目、西原廉太司祭(当時)の基調講演で、日本聖公会の宣教を考えるための多様な宣教ビジョンが資料とともに提供されました。笹森田鶴司祭(当時)によるバイブルシェアリングでは「わたしたちは何者で、何をすべき存在であるのか」、多様さを抱えた被造物＝人間の使命について分かち合われました。

参加者はこれからの教会のビジョンを語り合い、最後に『日本聖公会(宣教・牧会の十年)提言』にまとめられたのです。

閉会聖餐式説教で植松首座主教(当時)は「私たちの日常の中に宣教の現

場がある」と語られました。各教会に配られた「二〇二二年日本聖公会宣教協議会報告書」にこれらの詳しい内容が載っています。

それぞれの場で歩んできた私たちの〈宣教・牧会〉を振り返り、新たに向かうために。次の宣教協議会は来年一月に開かれます。

(文責：福澤真紀子)



感謝 北海の光献金(敬称略)

# 日本聖公会第六七(定期)総会 報告

矢澤 令子(横浜市)  
笹森 陽子(仙台市)

五月三十一日(六月二日、ルーテル市ヶ谷センター・ホール及びTKP市ヶ谷カンファレンスセンター)を会場に、武藤謙一(首座主教)によって招集された主教議員一〇名、聖職代議員二二名、信徒代議員二二名によって、日本聖公会総会が行われました。

五月三十一日(六月二日)まで、これまでの理解のまま「二〇歳」という表記に改められ、信徒代議員、常置委員、教会委員に選ばれるのは二〇歳以上の信徒という事になります。議場では一八歳・一九歳を積極的に含めようとする姿勢に感じられるとの指摘がありました。青年自身がこの件について話し合う機会があることを期待します。

主教会、常議員会、各委員会は、プロジェクトからの報告は一八件、議案審議は三七件、さらに動議の提出が数件ありました。新型コロナ感染症拡大の影響は教会の礼拝・宣教・経済の面において影響を隠せませんが、先が見通せない中をそれぞれが懸命に歩み続けていることはとても良く伝わって来ました。


教役者の給与・年金と日本聖公会の収益事業は深く関連しています。先人からの寄贈によって所有している不動産を活用して収益事業を行い、現役・退職の教役者の生活を支える大きな力となっていることは確かです。財政・年金担当者は経済的施策を考え抜いて教会を支える方法を探り続けておられ、大いに感謝をいたします。そこで、経済面で支えているのは教会の福音宣教の働きのためであるという根本的な位置づけや、感謝と奉仕の気運が結び付くような表現を共有したい願いで文言を加える動議が提出されま

北海道教区関連では、稚内聖公会と厚岸オーガスチン教会をそれぞれ伝道所とする規則の変更が承認されました。法規中の「成年」の表記について、民法では二〇二二年四月一日から成年年齢が一八歳に引き下げられたことに伴い、法規にある「成年」は全

したが、これは可決には至りませんでした。けれども、日本聖公会は福音宣教を共にする教会だという事をはっきりと確認する大切な機会になりました。

女性に関する課題の担当者報告の際、横浜教区の代議員でもある信徒が意見を述べました。それは、北海道教区主教按手式の際のある出来事が、信徒として希望を削がれる事象であること、女性も聖職者として自分の教区から誕生することを期待している旨が語られました。直後に笹森主教は赤い目で、動揺する議場の人々に平和を願う言葉・祈りを語られました。考えの違いを内に含んでいる日本聖公会が歩む道は決して容易ではありませんが、常に和解と平和を求めることに変わりはありません。

動画:「聖公会生野センターという福音」(12分)  
右のQRコードからアクセスしてください。  
大阪教区のHPからも視聴できます。



### 聖公会生野センター 30 周年の祈り

信頼と和解の源である神よ、人間の愚かと誤りによって未だに戦争、弾圧、差別、分裂の絶えないこの世界を顧みてください。あなたはみ子イエス・キリストによって、貧しく小さくさせられた人とともに生きることこそがあなたのみ心であると示されました。どうか、あなたのみ名によって建てられ創立 30 年の節目の時を迎える聖公会生野センターと連なるすべての人を祝福し、さまざまな違いを持つ人たちと共に生きるために、憐みの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けさせてください。また、わたしたちが在日韓国朝鮮人の歴史を正しく振り返り、共に生きる社会の礎となりますように祈ります。そしてあなたの愛に根差して和解の新たな歴史を創り上げていくことができますように、わたしたちの心の頑なさを取り除いてください。憐みの主、み子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

### 聖公会生野センター 30 周年記念感謝礼拝

「そこにキリストは共にいる」  
～弱った手に力を込め  
よるめく膝を強くせよ。(イザヤ:35:3)～

2022年10月10日(月・休)  
場所: プール学院中学校・高等学校  
メアリーズホール  
〈大阪市生野区勝山北 1-19-31〉  
13時30分～ 〈聖餐式〉  
司式: 武藤謙一(首座主教)・磯晴久(主教)・植松誠(主教)  
説教: 李京浩(主教) (大韓聖公会議長主教・ソウル教区主教)  
15時30分～ パネルディスカッション  
〈聖公会生野センターのミッションを語る〉  
パネリスト  
井田泉(司祭) (京都教区 退職)  
池住圭(さん) (日本聖公会正義と平和委員会)  
松原恵美子(さん) (大阪教区)

文責 道北分区分協働  
司祭 ヘレン 木村夕子



▽旭川聖マルコ教会

六月二十七日、アグネス<sup>だ</sup>基洋子さんが九〇歳の生涯を終え、天に召されました。残されたご主人の大きな声が教会を超えて洋子さんも届きますように。

七月三日は、教会委員会が開かれ、連絡網・名簿等の更新・九月までの行事の確認・納骨堂の使用基準の見直し等重要な審議がなされましたが、ここに来て旭川市の新型コロナウイルス感染症が急拡大し、七月に入ってから折角、三曲まで聖歌を歌い始めたのもつかの間、二四日からまた奏楽のみになりました。

頌栄保育園では、すみれ・さくら組が江丹別の草取り、すみれ組が旭岳姿見の池までの登山と元気いっぱい過ご

しました。

▽岩見沢聖十字教会

七月四日、笹森田鶴主教様、本部・出町勇人兄が視察の為に来園。主教様は園庭のハイジブランコに乗って楽しそうでしたよ。お昼は給食を召し上がりました。一〇月の主教巡回礼拝を皆でお待ちします。

八日午前、安倍晋三元総理の事件及び訃報。翌日の礼拝でお祈りをお捧げする。

管理牧師の池田亨司祭、六月より札幌から小樽へ異動。月一回の聖餐式と毎週月曜日の幼稚園礼拝に遠くから二時間かけて来られ、奉仕を終えて帰られます。司祭の健康と道中の安全をお祈りください。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸<sup>あつし</sup>聖オーガスチン教会

(伝道所)

信徒一同、この日を待ちわびていました。何しろ東アジアで初の女性主教にお会いできるのです。

マリア・グレイス笹森田鶴新主教の釧路初主教巡回は、七月一五日〜七月一七日の三日間にわたって行われまし

た。

一六日は厚岸聖オーガスチン教会(伝道所)をご訪問。聖餐式が行われ、釧路からも一〇名を越える信徒が参加。

翌一七日午前一〇時半、釧路聖パウロ教会で聖餐式が始まりました。新たな歴史の始まりです。二〇名を越える信徒たちの歌声も普段に増して高く響き渡ります。

「顔を覚えて頂くためにチョットだけマスクを取り直すね」そしてマスクをつけ直した後、自己紹介からお話を始めました。

この日の福音書は、現代にも深く横たわる社会的悩みがテーマ。主教は柔らかな声とゆつたりした口調で分りやすく読み解いてくださいました。礼拝後、簡単なセレモニー、解散。コロナ禍で歓迎会が出来なかったことは残念至極でした。

▽今金インマヌエル教会

七月もあつという間に下旬となり、春に種蒔きをした作物の収穫期を迎えた方もおり、この時期は礼拝の出席者が少なくなってしまう為、遠

方から礼拝を守るために来て

くださる司祭様にはいつも申し訳ない思いでいると共に感謝の気持ちでいっぱいです。

食糧を生産している私達は、ある意味生命技術者であることとを意識しております。安全・安心は今日では当たり前前で、美味しいのが大切です。天候に感謝し、健康で働けることに喜びを感じ、そして生産したものを多くの方に食べていただき笑顔になってもらいたい、こんな事を思い日々働いております。主に感謝します。

▽小樽聖公会

七月一〇日(日)、築一四四年を迎える聖堂、雪害によって破損した修繕工事も無事完了して、小樽聖公会宣教開始一四二年を記念し、感謝のうちに聖餐式をおささげする。

その日の夕べ。何気なく開いた詩編の言葉にみちびかれ黙想する。「わたしはいにしの日々を思い起こし、あなたのなさったことをひとつひとつ思い返し、御手の業を思いめぐらします(詩一四三・五)」。

七月二十五日(月)、教区事務所主事永谷司祭が来樽。聖堂修繕の確認をする。

▽帯広聖公会

北海道の初夏は一年で最も良い季節ですが、世の中は戦争、異常気象に加えて落ち着かない日々が続いています。安倍元首相の銃撃事件は決して許されるものではありませんが、原因とされる旧統一教会の霊感商法や行き過ぎた献金の実態が明るみに出るとつれ、宗教を語る団体の在り方が問われていることも感じます。日本中がコロナウイルス

の再拡大に見舞われており、十勝圏域もその例外ではありません。三密を避け、環境に配慮しつつ主日礼拝を守る日々が続いています。

▽稚内<sup>わっかない</sup>聖公会(伝道所)

七月一九日(火)、最高気温二四・一度、最低気温一四・七度、快晴の稚内聖公会で聖餐式をお捧げできました。祭壇の照明が新しくなつて明るくなり、礼拝堂受付のレイアウトが工夫され、雰囲気新鮮になりました。信徒の本原満栄さんはス

スマートフォンに切り替えたので、早速木村司祭の電話番号を登録して操作の練習をしました。ひ孫さんの顔を見ながら電話が出来るのが楽しみとのこと。信仰生活の交流にも取り入れられるとより豊かになりそうですね。お手伝いいたします。

▽札幌キリスト教会

全国的なコロナ感染者減少から集会室での会食を再開後、感染者急増により休止。一七日、小杉シノブ姉、尾尻杏乃姉、尾尻健志君の洗礼式、神の導きを祈る。同日、小樽聖公会信徒、余市の農園経営者牧野時夫氏のヴァイオリン・リサイタルを開催し、美しい音色に聴衆一同魅了される。コロナ禍で始まった留学

生支援活動「金曜ランチ」では、毎週約五〇名への支援を継続。また、小さな総菜屋さん「ヴィオラ・テリ」に続き、青年達の活動が開始。不安定な時代の中でも神の導きに感謝。二八日、岩崎良平さんご逝去。魂の平安を祈りました。  
▽札幌聖ミカエル教会  
二日、チェンバロとバイオ

リンによるチャリティコンサートを実施、聖堂と一体感のある旋律に魅了される。益金はJOCとウクライナ避難民支援のために捧げられました。一日は久しぶりのエンジンジェルウイングス(中高校生会)を開催。婦人会の例会も継続されています。またしてもコロナウイルスが猛威を振るい始めましたが、何とか続けられますように。一六日、幼稚園は小学校のグラウンドで運動会を挙行、雨を気にしながらでしたが、子どもたちの生き生きとした姿に力をいただく。二九日のGFSデイキャンプには四五名を超える参加あり。これからも子どもたちとともにある教会を目指します。

▽新札幌聖ニコラス教会

一七日、三年ぶりに長沼での野外礼拝を実施、気持ち良い雨の中で、神様の恵みに感謝して過ごすことができました。二四日は笹森主教の初巡回日でした。コロナ禍のため、歓迎会などはできませんでしたが、記念写真と「ニコラスの木」への手型をいただき、

新たな葉が与えられました。また、同日はアブラハム山原進さんの洗礼聖信式が行われました。神様の導きに感謝致します。

▽苫小牧聖ルカ教会

苫小牧らしいしっとりとした空気に夏が来たな...と感じます。天気予報に振り回された七月。九日、幼稚園運動会の予報は雨でしたが迎えた当日は晴天！今年も元気に運動会を終えることができました。教会のお庭に沢山の花が咲き始めました。皆さんのお庭で咲いたお花と教会のお花で祭壇が彩られています。また集会室を幼稚園でも使うことになり、茶話会などに活用して頂いてます。感染対策をしっかりとしながら、少しずつでも幼稚園と教会との繋がりが戻ればと願います。来月は墓地礼拝があります。日頃の墓地の清掃などのご奉仕に感謝。

▽函館聖ヨハネ教会

暑い日が多かった七月ですが、観光客が日に日に増えていきました。第二主日午後から、オープンガーデンを開催

しました。薔薇の花はピークを過ぎていましたが、芝生に椅子を置き、おなじみのジャズメンの演奏を気持ちの良い風と一緒に浴びることが出来ました。メイドインヨハネのお菓子を待ち望んでいた方も多く、あつという間に残り僅か、作り甲斐が有ります。薔薇の次は、色々な種類の紫陽花が目を楽しませておりま

す。ヨハネの庭ファンが多いのも、納得。司祭ご夫婦の常日ごろのお手入れに感謝。司祭は、少し体調を崩しております。お祈りください。  
▽平取聖公会  
先月号で平取は梅雨入りしているとお伝えしましたが、七月半ば過ぎまで続いた晴れ間が生まれませんでした。そのため牧草や麦の収穫がかなり遅れ、品質も悪いようです。礼拝堂の祭壇は信徒より少し段があり、夏は熱がこもりますので、改善のためにサーキュレーターを設置したところ、牧師から好評を得ました。牧師も信徒も高齢者がほとんどですので、寒暖の対処が必要になってきました。

バチラー保育園の改築は本設計が進行中ですが、ウクライナへのロシアの侵攻の影響で、木材価格やその他の資材価格がコロナ感染の影響と相まって高騰していて心配です。

▽紋別聖マリヤ教会

秋のような気温が上がり暑い日が続いたと思うと急に暑くなり驚いています。三日、越山司祭による聖餐式が行われました。ジェームス・エリックソン兄のお父様、ビンセント・エリックソン兄が逝去されました。実家のあるカナダに帰国する直前に逝去されたため、より残念でなりません。召されたお父様の魂が安らかでありますように。幼稚園では、二〇日終業式、二一

〜二二日お泊まり会で、夏休みに入りました。三一日、飯野司祭による聖餐式。主に感謝します。  
▽有珠聖公会  
花見や写真撮影に来る方がおられる程、教会の建つ丘一面にアジサイの花が満開です。七月二四日、聖餐式。中山峠を越えて礼拝に出席した

方が牧師を含めて七名となり、礼拝出席者の半数に迫る人数でした。七月二十九日、GFSデイキャンプの皆さんを有珠にお迎えする。五〇名近い方々が、教会で祈りの時を持たれた後、今年一番の暑さの中、多いに有珠の海を楽しんで帰られました。

▽留萌キリスト教会

例年バザーの準備で七月の暑い日々を過ごしていました。が、コロナの影響で三年間行事を開催していません。今となつては体力的に難しく、若かった日々を懐かしむばかり。

名寄の藤井法さんが体調不良で入院、手術の知らせを受けて驚き、一同心から回復を祈りました。不安な日々を送りましたが、幸いなことに順調に退院されました。少しずつ日常生活に戻っているよう

で感謝です。  
GFSキャンプにチャプレンの木村司祭が参加。有珠の海で元気を充電しました。

▽新冠聖フランシス教会

新冠優駿ロードでは春に生まれた子馬が成長し、母馬と

一緒に草を食む光景を眺めながら教会へ向かいます。新緑の木々に囲まれた教会では真夏でも涼しい環境の中で礼拝・聖餐に与る事が出来ます。正面玄関の扉を開くと真っ先に目に入る祭壇と大きな十字架、その背面にはガラス越しに揺れる青葉。時には小鳥が飛び交う姿も見られ、豊かな自然の美しさに癒されて、月に二度の集いに感謝です。

七月二十四日の主日礼拝は、内海司祭の聖歌の声を頼りに進行します。聖霊降臨後第七主日の学びには能谷泰彦兄、奥田光信兄も加わりうれしい時を過ごしました。

▽北見聖ヤコブ教会

カザリン鴻上啓子さんが七月八日ご逝去。九〇歳。魂の平安と永遠の光明をお祈りいたします。一三日・一四日、市内の会館でご葬儀が仏式で行われ、一七日の「ヤコブ日礼拝」にはご長男一樹さんご夫妻も見えて、礼拝後、逝去者記念の式が執り行われました。

司祭は網走刑務所の教誨師として「札幌矯正管区長表彰」

また「札幌矯正管区教誨師連盟会長表彰」を受けています。美幌に引越して来られた藤井杏菜さんが礼拝に見えて、先日は奏楽奉仕もしてくださいました。主に感謝。

▽網走聖ペテロ教会

「ペテロの会」は賛美と清掃が中心ですが、ちよつとした打ち合わせも出来て有効に使われています。「勉強会」はマルコ福音書を少しずつ学んでおりましたが、今回で終了。次回より箴言を分かち合います。七月二十四日、ギデオ

ン協会の高木さんが見え、報告と証しの時が持たれました。二九日、「ひすいアドベンチャーズ」の作家ひすいこたろう氏や植木祐子さんら六名が来会。恵みの時を過ごし、お帰りには教会墓地とファミリーホームのあにも寄られました。

夏本番の網走です。

▽深川聖三一教会

七月三日、教会委員会、保育園運営委員会、婦人会開催す。一〇日、宣教開始一二四年記念礼拝に笹森田鶴新主教様の初巡回日。一同大歓迎。

親しく食事会をできず残念です。翌一日、新主教様と出町教区事務所副主事は深川あけほの保育園を訪問。主教練より子どもの礼拝でお話を賜る。感謝。数日前には熊が保育園を横切りました。一四日、保育園の職員会議、園内研修は岸本保育士により「プールの事故・ケガの防止」について指導あり。一六日〜一七日、保育園お泊り保育、一六日、教会で開会礼拝。

▽室蘭聖マタイ教会

新型コロナウイルスの影響が胆振地区にも増えてきており、心配です。七月一〇日は松井司祭が来室され、聖餐式が行われ、式後マタイによる福音書の輪読会。その後八月の予定等について話し合いが行われました。二四日は札幌より大町司祭が来られて聖餐式が行われ、その後親しく懇談会が開かれました。

祭壇の花は田中兄、白藤姉宅の庭の花が捧げられ、助かります。新型コロナウイルスの影響で教会の行事も制限され、『北海の光』に投稿する事例も少なくなり申し訳ありません。

▽聖マーガレット教会

七月教会委員会で管理牧師笹森主教が、三浦千晴聖職候補生の執事志願について話される。志願へのプロセスの説明及び志願に至るご本人の思いをお聞きし、教会委員はそれぞれが支えていくことを確認して推薦状に署名捺印することとする。皆様のお祈りに加えて頂きますように。

教会掲示板が書き換え整備され、夕暮れからのタイマー点灯も無事再開。正面玄関のガラスに鳥よけシールを貼ること、また、隣接地境界にある木の伐採を決める。少しずつ新しい風が吹き始めました。

